



ええ……  
そうね  
あなた



なあ  
郁美

今日は似た者同士で  
楽しく過ごせ  
そうじゃないか



キミは今から  
鬼園社長に  
控かせる



見てください  
鬼園さん  
この乳を

あ

私が喉い  
挿みだいて  
ここまで大きく  
したのですよ



私が犯されて  
いるのを見ると  
興奮する?

ああ



私と  
郁美は……  
スワッピング……



この尻は  
たっぷり唾液を  
塗り込めました

あ……



そういう思いが  
こんな  
いやらしい体  
にしたんでしょうな



そ  
そんな……

この友紀子は  
1日中考えてるのは  
セックスのこと  
ばかりでしての



素晴らしい



ワシひとりでは  
どうにも持て余し  
ましてな

あ







ああ……  
下横田さん……

ああん



あ



いい身体じゃ  
奥さん

ああ……  
社長さん



あは……



ああっ







ええ……  
……美戯ですわ

硬い肉根が  
膣全体に  
満ちて……

肉が濡けて  
いきまよ……



キミの子宮口が  
重鎮にキスの雨を  
降らせて  
いるように  
淫靡しているのが  
わかるよ

肉筒の  
脈動もわかる



キミは  
それに委きつく  
性感神経むきだしの  
淫肉だ



感じたまえ

キミの  
肉体の芯に  
オレのペ○ス



オレのモノも  
溶けそうだ

ああ……  
下根田さま……

